

富川市、オンラインで輸出販路を拓く

10月13日～14日、2021海外バイヤーオンライン輸出商談会を開催

富川にある企業を対象とする海外バイヤーオンライン輸出商談会(富川市、韓国貿易協会の共同主催)が10月13～14日の2日間、富川のコリョホテル(HOTEL KORYO BUCHEON)にて開催された。

今回のイベントはコロナ禍により輸出販路の開拓に困難をきたしている富川の企業のために企画されたもので、ビデオ会議による商談やインフルエンサーによるライブコマースなどが行われた。



商談会は輸出販路の開拓に苦難している富川の中小企業110社が参加し、15か国の70以上のバイヤーと170以上の輸出商談を行った。商談全体の合計総額は約2千8百万ドルで、契約予想金額は1千8百万ドルにのぼる。

特に、機能性の高いシャワーヘッドを製造するP社はロシアで韓国商品ショッピングモールを運営するバイヤーと商談を進行し、10万ドル相当の契約が予想される。さらには、化粧品を製造するM社はフィリピンのバイヤーから現場で2万ドルのサンプル注文を受けた。

また、タイや中国のインフルエンサーはライブ配信を通じて富川の企業の生産製品をライブで紹介したり、サンプルをプレゼントするイベントを行った。登録者数76万人YouTubeであるタイのインフルエンサー(Hi Prae)は約2時間に渡ってライブ同時接続者7千名に化粧品、韓国海苔、インテリア用パズルなどの商品を紹介した。

こうした富川市による海外バイヤーの輸出商談会は毎年10～11月に行われ、富川の企業が参加したい場合、毎年8月頃に富川市庁及び貿易協会のホームページを通じて申請できる。